**現場の週報から（令和2年8月3日～8月9日）**

**【8月3日～8月9日】**

■さくらグループホーム：及川玲奈さん

・6日にご利用者から体を動かしたいと希望があり、運動会をしました。運動会の競技で何をするかみんなで話し合いました。「綱引き昔したからやってみたいね」「玉入れもいいね」と、行う競技はご利用者が決めてくれ、ハチマキ作りもしました。ハチマキに“ガンバレ”と、Tさんが書いていました。競技のメインは楽しみなパン食い競争です。

■いずみの杜診療所：渡邊麻衣子さん

・9日あいにくの天気でしたが、ビアガーデンを行いました。外では男性陣のバーベキュー・室内では女性陣の焼きそば作りや漬物作り。個別の皿を準備し換気・消毒の徹底、テーブルの席を分けるなど配慮し、3密に注意し行っております。「いや～久しぶりだね」・「企画してありがとね」など久しぶりの日曜の取り組みにご利用者・職員の笑顔の輪が広がりました。コロナの怖さはありますが、正しく恐れ、お互いが対策を徹底することで今できる事を行っていきたいと思います。

■グループホームゆづるの杜：髙澤智子さん

・毎週のようにご報告させていただいていたかぼちゃですが、ついに本日収穫しました。まだ食べてはいませんが、これからみんなで味わいたいと思います。（OSさんは畑を手入れしてくれているOGさんとかぼちゃの写真を撮りたいそうです）ここのところずっと気分が落ち込んでいたYさんにも収穫したかぼちゃをみていただきましたが、ちょうどいい具合で収穫したねと言ってくださいました。（Yさんは農家です）

■グループホームかなでの杜：佐藤政博さん

・Kさんが特養への入所決定となりました。原則外出は自粛ですが、ご本人の楽しみの一つでもある職員とのラーメン屋への外食を人ごみの少ない時間帯で前後の消毒や感染対策も万全にしたうえでゴーサインを出し、職員もご本人も大変楽しまれてきたようです。

■杜の家ゆめみ：星恵美子さん

・今年は花火大会も中止の所が多いので、8月の設えと夏祭り用にご利用者と一緒に、折り紙や画用紙を使って花火を作成しています。ご利用者それぞれの花火のイメージがあり色や形も様々です。もうすぐ大輪の花火がゆめみの夜空に打ちあがる予定です。また、テーブルにアクリル板を設置しました。「ナニコレ？」「今、コロナが流行ってるから咳とか、くしゃみで唾が飛ぶのを防ぐ為だよ！」とご利用者同士の会話。慣れないアクリル板で反射が気になる方もおり、テーブルの上でどこに置こうか移動している姿も見られました(>\_<)

■グループホームゆめみの杜：佐藤恵美子さん

・今週お誕生日を迎えた方の東京の娘さんから「お父さんお誕生日おめでとう」の電話がありました。担当の職員は以前、面会に来てくださったときに取った家族写真を額に入れ装飾しプレゼントされていました。それをもって記念撮影し他のご家族様にその写真をプレゼントしたいと思います。ご本人やご家族様のことも考え記念日を大切にしてくれる職員の皆さんに感謝です。

■ゆかりの樹：佐々木英光さん

・晩酌が日課の女性Sさんの誕生会をノンアルコールビールと、ご飯・片栗粉・あんこ・生クリームを使った懐かしい素朴な味わいのお菓子作りをしてお祝いさせて頂いた。以前よりお酒が飲みたいねとお話しを伺っており、ノンアルコールビールではありましたが「まさか飲めるなんてね～」と気分よく喜んで下さり、周りの皆様・職員にもお酌して下さり、心地よい雰囲気の中でお祝いをさせて頂いた。普段はお酒を飲まない女性の方、いつも水分が進まない女性の方もコップに手が伸びて飲んでおられ、意外な一面の発見と利用者さん同士の交流が新しく生まれ、皆さんの中で何かが芽吹いたそんな大切な時間になったような気がします。これからも限られた時間の中でその方と対話し共に何が出来るのかをもっと模索し、より良く過ごして頂ける時間となりますよう、皆さんとコロナ対策に力を入れながら話し合いを積み重ねて取り組んでいきたいと思います。

■ショートステイみはるの杜：濵松良樹さん

・今週は、暑い日が続いており、かき氷を利用者さんと一緒に作り、食べて少しでも涼しさを感じて頂けるように提供させて頂きました。水分がすすまない利用者さんも、かき氷を提供すると皆さん喜んで食べて頂けます。脱水の予防にもなります。準備の段階から利用者さんは昔、よく食べたね。こんなはいからな上にかける物は無かったとお話しされたいました。みなさんに喜んで頂けたようです。

■グループホームはごうの杜：小山匡信さん

・仙台七夕が新型コロナウイルスの影響で開催できないことを報道で聞いた入居者さんより「昔はよく行ったのに見れなくて残念だ～」と話があり昼食時に提供している寒天ゼリーを七夕仕様に作成しみんなで食べました。「夜はあまり空を見ないから天の川とか出てたのかな？」と入居者さんと話も盛り上がり昼食時は「綺麗だから食べるのがもったいない」と話されておりましたが、召し上がると「美味し～い！」と皆さん喜ばれておりました。

■杜の家ゆづる：半澤克也さん

・今年はコロナ禍の中で、ゆづる夏祭りが行えないので、20日、26日と2週にわたり納涼会として縁日メニューとして、昼食も兼ね実施したいと思います。お年寄りの皆様と一緒に企画・準備し、当日も一緒に準備したいと計画しています。お年寄りからは焼きそば、焼き鳥、枝豆は決まりだっちゃね。あとビールもね。うーん、今年はノンアルコールにしましょうなど会話が聞かれております。スイカ割もし、一味違った夏の風情をみんなで楽しもうと思います。イベントの計画の中には、お昼でもありながら花火の文字が・・・。今年はコロナで各地の花火大会も中止です。ゆづるでは小さな昼花火で夏の匂いを感じ満喫します。

■さくらデイサービスセンター：石川学さん

・「8月13日～15日はお盆のイベントがあるね。楽しみだよ。7月の七夕イベントのときのスタッフのひげダンスは、とても懐かしく良かったからね。私も昔、余興やっていたんだよ。」とご利用者からイベントを楽しみにしているという声が聞かれております。いよいよ今週が、お盆イベントなので皆が楽しんでいただけけるように準備をしっかりと行って参ります。

■グループホームななみの杜：澤村直子さん

・８日スイカ割をしました。スイカを囲んで丸くなり、最初は予行練習として新聞を丸めた棒を使い一人一人やりました。（雰囲気を出すために、タオルで目隠しもしましたが、ちゃんと職員が横について転倒などには注意をしました）。練習後は本番の棒を使い、目隠しをしながらスイカを叩きました。皆さん１回に一振りだけでなく、数回バンバンと叩いていました。ヒビや傷はつくが、それでも割れないスイカ…。最後は職員が高い所から一撃を振り下ろし、無事割れました。割れて赤い実が見えた時は「わぁ～」等と歓声が上がりました。その後は食べやすくカットし、「甘くておいしいね」等とみんなで美味しく頂きました。